

高梁川小田川倉敷市真備地域

平地から山地へ流れる川 山地に囲まれせばまる平地



過去に特徴的な災害をもたらした要因

平成30年(2018年)7月豪雨

平成30年(2018年)6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で発生した、台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨。多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生した。

※災害の概要は自然災害伝承碑等の内容を編集

山地から流れ出た川が合流しているね。下流部に山地があり、平地がせまくなっているね。

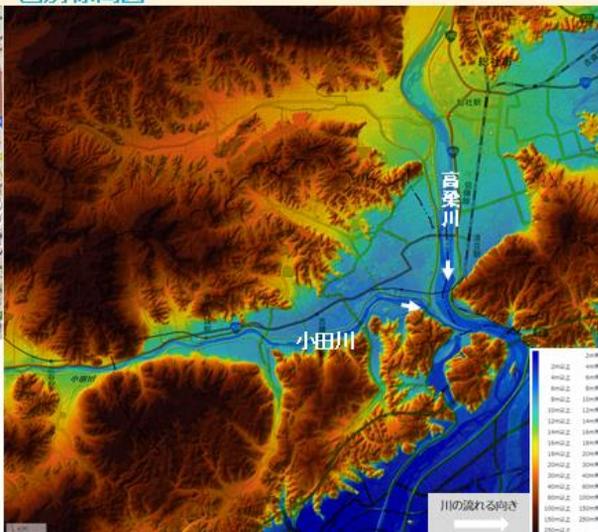
水は高いところから低いところへ流れる。川が合流するところでは、水の流れが悪くなって増水しやすいので注意しよう。



浸水推定図



色別標高図



過去の災害履歴情報

2018年6月7月
平成30年7月豪雨

1976年9月
浸水

1893年10月
大洪水

高梁川小田川倉敷市真備地域

土地の成り立ち



過去に特徴的な災害をもたらした要因

平成30年(2018年)7月豪雨

平成30年(2018年)6月28日から7月8日にかけて、西日本を中心に北海道や中部地方を含む全国的に広い範囲で発生した、台風7号および梅雨前線等の影響による集中豪雨。多くの地域で河川の氾濫や浸水害、土砂災害が発生した。

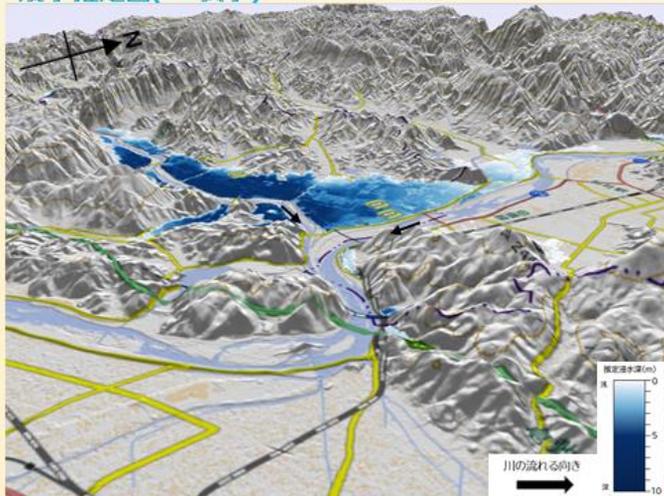
※災害の概要は自然災害伝承碑等の内容を編集

川の合流地点に近い土地では水の逃げ道がなくなってしまい、深く浸水して被害が大きくなることもあるんだ。

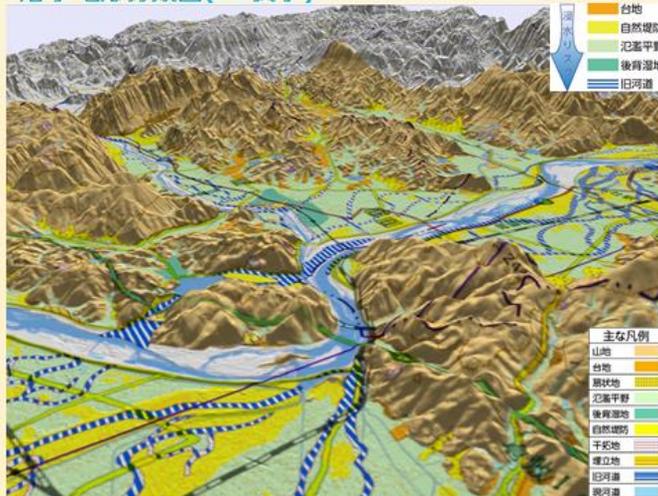
旧河道や後背湿地は周りの平地よりもさらに標高が低いことが多いので特に注意が必要だよ。



浸水推定図(3D表示)



治水地形分類図(3D表示)



高さ3倍強調

高さ3倍強調